

# 気象集誌

## 第85巻（平成19年）総目次

2007

論文

巻頭言	1	i
追悼文	1	ii
Xiaodong LIU・Zhengyu LIU・S. CIEMENS・W. PRELL・J. KUTZBACH：氷期の アジアモンスーン変動とインド洋ダイポール変動に関する結合モデル研究	1	1-10
小笠原拓也・川村隆一：日本の夏季の異常天候をもたらす遠隔伝播パターンの 複合効果	1	11-24
李 竹暁・武田喬男・坪木和久・加藤内蔵進・川島正行・藤吉康志：1998年と1999年に 行われた GAME/HUBEX の集中観測期間中に中国東部で夜間に発達した クラウドクラスター	1	25-45
Pradeep KHATRI・石坂 隆：大陸性汚染気団が東シナ海上におけるエアロゾルの 光学的性質に及ぼす影響	1	47-68
山本 享・吉野正敏・鈴木 潤：東アジアにおける1999-2003年のダストイベント発生と 総観規模の気候条件との関係	2	81-99
中澤哲夫・Kavirajan RAJENDRAN：北西太平洋の循環場と日本への台風接近・上陸 との関係	2	101-114
上野 充：環境風の鉛直シアが台風コア域の降水非対称性に及ぼす影響とその機構	2	115-136
李 静敏・長田和雄：立山の春期積雪に含まれる水不溶性粒子：形状因子や粒径分布の 特徴と起源や輸送との関係	2	137-149
Hoon PARK・Song-You HONG：韓国気象局の全球予報システムにおける マスフラックス型パラメタリゼーションスキームの評価	2	151-169
二宮洗三：日本海上の気団変質の総観規模変動	2	171-186
村上裕之・松村崇行：高解像度全球大気モデルに効率的な非線型 ノーマルモードイニシャリゼーションの開発	2	187-208
S. SAJANI・中澤哲夫・鬼頭昭雄・K. RAJENDRAN：インド夏季モンスーン降水量の 大気大循環モデルによるアンサンブルシミュレーション	3	213-231
George Tai-Jen CHEN・Chung-Chieh WANG・Hong-Chi CHOU：冬期の台湾近傍で 発生したポーエコーの事例解析	3	233-253
川畑拓矢・瀬古 弘・斉藤和雄・黒田 徹・田宮久一郎・露木 義・本田有機・若月泰孝： 雲解像度4次元変分法データ同化システムを用いた練馬豪雨に関する データ同化・予報実験	3	255-276
二宮洗三：大気大循環モデルでシミュレートされた南大西洋収束帯と梅雨前線帯の 類似点と相違点	3	277-299
井村真悟・古本淳一・津田敏隆・中村卓司：VHF 及び UHF ウインドプロファイラデータを 組み合わせた水蒸気プロファイル推定	3	301-319
小林文明・杉本ゆかり・鈴木智幸・前坂 剛・茂木耕作：寒気吹出し時に日本海沿岸で 発生した竜巻のドップラーレーダー観測	3	321-334
大庭雅道・植田宏昭：インド洋の SST 偏差のエル・ニーニョからラ・ニーニャへの		

遷移加速効果	3	335-348
序文 (JRA-25長期再解析特集)	3	i
大野木和敏・筒井純一・小出 寛・坂本雅巳・古林慎哉・初鹿宏壮・松本隆則・山崎信雄・ 釜堀弘隆・高橋清利・門倉真二・和田浩治・加藤浩司・小山 亮・尾瀬智昭・ 萬納寺信崇・平 隆介：JRA-25長期再解析	3	369-432
星野俊介・中澤哲夫：TRMM/TMI 輝度温度データを用いた熱帯低気圧の強度推定法の 開発	4	437-454
瀬古 弘・小司禎教・藤部文昭：1999年7月21日に関東平野で発達した雷雨の時間発展と 気流構造 (練馬豪雨)	4	455-477
沢田雅洋・岩崎俊樹：氷相過程が熱帯低気圧の発達に及ぼす影響	4	479-494
長浜智生・中根英昭・藤沼康実・森平淳志・水野 亮・小川英夫・福井康雄： 地上ミリ波分光計による陸別上空の成層圏オゾンの観測	4	495-509
加藤輝之・林 修吾・吉崎正憲：梅雨期における積乱雲の潜在的発達高度に関する 統計的研究	5	529-557
Yu-Chieng LIOU：最適化された移動座標系を用いた単一のドップラーレーダーによる 深い対流システムの三次元風速場のリトリバル	5	559-582
中田 隆・木村龍治・新野 宏：自由大気中における温度と水蒸気の鉛直微細構造	5	583-597
Song FENG・Saralees NADARAJAH・Qi HU：一般化極値分布を用いた年毎の極端な 降水のモデル	5	599-613
Seong-Chan PARK・Byung-Ju SOHN・Bin WANG：アジア夏季モンスーン域における NCEP, ERA40, JRA25再解析の水蒸気輸送の発散成分の衛星による評価	5	615-632
大東忠保・坪木和久：対流圏中層の寒気核の通過に伴う日本海寒帯気団収束帯の移動と 強化過程	5	633-662
山田広幸・耿 驃・上田 博・坪木和久：梅雨前線上で夜間に発達したクラウドクラスターに 対する陸面加熱の役割	5	663-685
山田広幸・耿 驃・上田 博・坪木和久：梅雨前線帯における集中豪雨の発生と持続時間に 対する大陸上の地表面加熱の役割	5	687-709
Eun-Soon IM・Moon-Hyun KIM・Won-Tae KWON・Steven COCKE：二重ネスト化した 領域気候モデルによる韓国の平均気候および極端現象の将来変化予測	6	717-732
Ha-Taek KWON・岩淵哲也・Gyu-Ho LIM：韓国における地上GPSとラジオゾンデから 得られる可降水量の比較	6	733-746
藤部文昭・北嶋尚子：日本本土に上陸する台風の地上風分布型の分類	6	747-765
田上浩孝・新野 宏・加藤輝之：梅雨前線上のメソ $\alpha$ 低気圧とその環境場に関する 研究	6	767-784
寺崎康児・田中 博：解析的な鉛直構造関数を用いた大気大循環の 3次元エネルギースペクトルおよび相互作用の解析	6	785-796
石井昌憲・佐々木華織・水谷耕平・青木哲郎・板部敏和・菅野洋光・松島 大・余 偉明・ 野田 暁・沢田雅洋・氏家将志・松浦陽介・岩崎俊樹：日本の局地的な 東風“清川ダシ”の時間的変化と空間的構造 PART I：コヒーレントドップラーライダーによる観測	6	797-813
序文 (北極振動特集)	6	i
伊藤久徳・森 厚・行本誠史：冬季北半球の独立成分：北極振動は独立成分か？	6	825-846
堀 E. 正岳・野原大輔・田中 博：地球温暖化シナリオ実験下における北極振動の		

北半球地表面気温変動への影響	6	847-859
----------------	---	---------

### 要報と質疑

Eun-Kyoung SEO・Guosheng LIU・Kwang-Yul KIM: ベイジアン・リトリーバル・アルゴリズムにおける系統誤差について	1	69-74
Mathew ROXY・谷本陽一: インドモンスーン季節内変動に対するインド洋海面水温場の役割	3	349-358
篠田雅人・伊藤俊介・G. U. NACHINSHONHOR・Divaa ERDENETSETSEG: モンゴル草原の植物季節と水分条件	3	359-367
高薮 出・加藤央之・西澤慶一・高薮 緑・佐藤康雄・佐々木秀孝・栗原和夫・鬼頭昭雄: MRI-CGCM2.2にネストした2つの地域気候モデルによるアジア域降水量の将来変動予測	4	511-519
Winston C. CHAO: “対流と結合した赤道波” に対するよりよい記述としてのキメラ赤道波	4	521-524
Byung-Ju SOHN・中島映至・Hyoung-Wook CHUN・青木一真: 韓国アンミョンにおけるスカイラジオメーター観測から推測されるより吸収の大きいダストエアロゾル	6	815-823
向川 均・廣岡俊彦: 北半球環状モードの下方伝播の予測可能性: 2003年1月の事例解析	6	861-870
横山直美・田中 博: 北極振動の季節変化に関する解析のおよび理論的研究	6	871-879
猪上 淳・菊地 隆: 氷海用漂流ブイで観測された夏季北極海の海水流出とそれに関わる海水減少・大気大循環について	6	881-887
黒田友二: QBO と ENSO が冬季北大西洋振動の太陽活動による変調に及ぼす影響	6	889-898
本田明治・山根省三・中村 尚: 冬季球対流圏上層における北太平洋・北大西洋間のリンク: 卓越性と季節依存性	6	899-908
藤田玲子・田中 博: 北極振動と太陽活動および地磁気活動の関係に関する統計的研究	6	909-918
廣岡俊彦・一丸知子・向川 均: アンサンブル予報データから見積もった成層圏突然昇温の予測可能性: 2001/02年冬季と2003/04年冬季の事例の比較	6	919-925
小寺邦彦・Katie COUGHLIN: 埋め込まれた波構造によって起こる北半球環状モード指数の見かけの鉛直伝播	6	927-931
鈴木一步・田中 博: 現実大気およびモデル大気の順圧成分において解析されるテレコネクションと北極振動	6	933-941
行本誠史・小寺邦彦: 成層圏で強制された環状モードと海洋との相互作用	6	943-952

### 学会誌「天気」の論文・解説リスト

学会誌「天気」の論文・解説リスト (2006年11月号・12月号)	75
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2007年1月号・2月号)	209-210
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2007年3月号・4月号)	433
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2007年5月号・6月号)	525-526
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2007年7月号・8月号)	712-713
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2007年9月号・10月号)	955

## 英文レター誌 SOLA の論文リスト

英文レター誌 SOLA の論文リスト (2006年160—179) .....	76
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2007年001—040) .....	211
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2007年041—064) .....	434
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2007年065—076) .....	527
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2007年077—096) .....	714
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2007年097—116) .....	956

## 特別号

巻頭言 (CEOP 特別号) .....	A	i
平井雅之・坂下卓也・保坂征宏・大泉三津夫・北川裕人・露木 義：気象庁現業全球数値 予報モデルのための新陸面モデルの開発と観測データを用いた検証 .....	A	1-24
S. C. CHOU・C. P. DERECZYNSKI・P. V. WALDHEIM・J. A. MARENGO・ A. O. MANZI：CPTEC 全球モデルおよび Eta モデルによる数値実験結果と ブラジル・ロンドニア観測サイトでの観測データとの比較 .....	A	25-42
S. MILTON・P. EARNSHAW：イギリス気象局全球数値予報モデルの地表面における 水・エネルギーサイクルの CEOP データを使った評価 .....	A	43-72
L. RIKUS：CEOP EOP3期間の現地観測データを用いたオーストラリア気象局数値モデルの 地表面変数の検証 .....	A	73-97
K. YANG・M. RASMY・S. RAUNIYAR・小池俊雄・谷口健司・玉川勝徳・ P. KOUDELOVA・喜連川 優・根本利弘・安川雅紀・生駒栄司・ M. G. BOSILOVICH・S. WILLIAMS：CEOP データセットを用いた 全球大気大循環モデルと地表面モデルの予測精度に関する検証 .....	A	99-116
A. C. RUANE・J. O. ROADS：複数の再解析データを用いたアメリカ本土での 水循環及び熱エネルギー循環の日周変化に関する比較 .....	A	117-143
I. MEINKE・J. ROADS・M. KANAMITSU：CEOP 期間中の RSM によって シミュレートされた雨の検証 .....	A	145-166
K. K. SZETO：サスカチュワン川流域での水・熱収支の検証 .....	A	167-186
H. KATO・M. RODELL・F. BEYRICH・H. CLEUGH・E. van GORSEL・H. LIU・ T. P. MEYERS：CEOP リファレンスサイトデータを用いた陸面モデルにおける 物理過程と陸面特性及び強制力データの感度の検証 .....	A	187-204
M. G. BOSILOVICH・J. D. RADAKOVICH・A. da SILVA・R. TODLING・ F. VERTER：大気陸面結合データ同化システムにおける地表面温度の 解析とバイアスの較正 .....	A	205-228
K. YANG・渡辺崇弘・小池俊雄・X. LI・藤井秀幸・玉川勝徳・Y. MA・石川裕彦： 土壌水分及び地表面エネルギー収支推定のための陸面モデルへの同化のための AMSR-E データ自動較正システムの開発 .....	A	229-242
P. MAHADEVAN・小池俊雄・藤井秀幸・玉川勝徳・X. LI・開発一郎：AMSR-E データを用いた乾燥域のための陸面衛星データ同化手法の改良と適用： CEOP モンゴル観測サイトにおける検証 .....	A	243-260
山中 勤・開発一郎・D. OYUNBAATAR・T. GANBOLD：モンゴルの半乾燥草原における 広域土壌水分変動特性とその支配要因 .....	A	261-270

谷口健司・小池俊雄：2004年プレモンスーン期におけるチベット高原東部での 対流圏上層の大気昇温と積雲活動……………	A	271-294
Y. MA・M. SONG・石川裕彦・K. YANG・小池俊雄・L. JIA・M. MENENTI・Z. SU： ランドサット-7 ETM データと地上観測を用いたチベット高原での領域的な 蒸発割合の評価……………	A	295-309
X. XU・X. SHI・L. XIE・Y. WANG：中国東方域の夏のモンスーンの 十年スケール変動と春に見られる不均一な地表面気温変動分布の関係……………	A	311-323
B. K. BASU・G. IYENGAR：2004年夏季インドモンスーンの特徴—観測と数値予報…	A	325-336
S. CHIAO・A. P. BARROS：モンスーン期における北西インドのドライラインに関する 数値モデル実験……………	A	337-361
W. LI・Y. K. XUE・I. POCCARD：西アフリカにおける夏のモンスーン変動への 植生指標の影響に関する数値実験……………	A	363-383
H.-Y. MA・C. B. MECHOSO：南アメリカモンスーンシステムにおける月以下の 時間スケールでの変動……………	A	385-401
W. K. M. LAU・K. M. KIM：世界のモンスーンシステムにおける日変化と季節変化の 特徴……………	A	403-416
筒井浩行・小池俊雄・T. GRAF：ヤクーツク CEOP リファレンスサイトにおける 乾雪を対象とした積雪衛星アルゴリズムの開発とその検証……………	A	417-438
H. SU・E. F. WOOD・M. F. McCABE・Z. SU：CEOP EOP-1リファレンスサイトにおける 蒸発散量のリモートセンシング評価……………	A	439-459
生駒栄司・玉川勝徳・太田 哲・小池俊雄・喜連川 優：QUASUR：CEOP データを 対象としたウェブベースのデータ品質管理システム……………	A	461-473
F. TOUSSAINT・M. LAUTENSCHLAGER・H. LUTHARDT：World Data Center for Climate Data—統合地球水循環強化観測期間プロジェクトにおける モデル出力データに関して……………	A	475-485
R. XIE・柴崎亮介・小野雅史：CEOP 衛星観測データの統合化に向けたメタデータの 開発……………	A	487-517
B. BURFORD・落合治・Y. ENLOE・K. McDONALD：CEOP 用分散型 データ統合プロトタイプシステム……………	A	519-527
根本利弘・小池俊雄・喜連川 優：集中型 CEOP データ統合システムのための 解析システム……………	A	529-543
生駒栄司・喜連川 優・谷口健司・小池俊雄：CEOP データアーカイブを対象とした ディスプレイウォール上のビジュアルマイニング……………	A	545-559
巻頭言 (125周年記念特別号)……………	B	i
Yimin LIU・Brian HOSKINS・Michael BLACKBURN：夏季アジアの大気循環に対する チベット高原の地形と加熱の影響……………	B	1-19
Yihui DING：夏季アジアモンスーンの変動……………	B	21-54
安成哲三：アジアのモンスーン気候とその変化における大気・陸面相互作用の役割……………	B	55-75
余田成男：大気予測可能性……………	B	77-102
二宮洗三・柴垣佳明：梅雨前線と梅雨降水系の多種スケールの様相……………	B	103-122
Dennis L. HARTMANN：大気大循環とその変動……………	B	123-143
山岬正紀：CISK としての熱帯低気圧 (台風) に関する見解……………	B	145-164
Theodore G. SHEPHERD：中層大気の輸送過程……………	B	165-191

Jeffrey M. FORBES：熱圏の力学 .....	B	193-213
深尾昌一郎：大気レーダー研究の発展 .....	B	215-239
David L. WILLIAMSON：全球大気モデルの力学コアの発展 .....	B	241-269
斉藤和雄・石田純一・荒波恒平・原 旅人・瀬川智則・成田正巳・本田有機： 非静力学大気モデルと気象庁での現業開発 .....	B	271-304
Wei-Kuo TAO：雲解像モデル .....	B	305-330
露木 義・三好建正：気象学におけるデータ同化法の最近の発展 .....	B	331-361
神田 学：都市気象研究の進展 .....	B	363-383
真鍋淑郎・Ronald J. STOUFFER：温暖化における海の役割 .....	B	385-403

---